

株式会社ノリタケカンパニーリミテド 2020年3月期 第2四半期決算説明会

代表取締役社長 加藤 博経営管理本部 副本部長 兼 財務部長 中村吉雅

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。 こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。 将来の業績は、経営環境の変化などによって、計画と異なる可能性があることにご留意ください。



- 1.2020年3月期 第2四半期連結決算の概要
- 2. 2020年3月期 業績予想
- 3. 2020年3月期 重点施策



1.2020年3月期 第2四半期連結決算の概要

2. 2020年3月期 業績予想

3. 2020年3月期 重点施策



2020年3月期第2四半期の連結業績(単位:億円)

			2019年3月期 上期(実績)	2020年3月期 上期(実績)	対前年同期比
売	上	高	620	619	△0.1%
営	業利	益	38	27	△29.2%
経:	常 利	益	50	37	△25.1%
	社 株 主 属 す 期 純 利	にる益	41	28	△31.0%

*売上高に係る為替影響額:+0.3億円

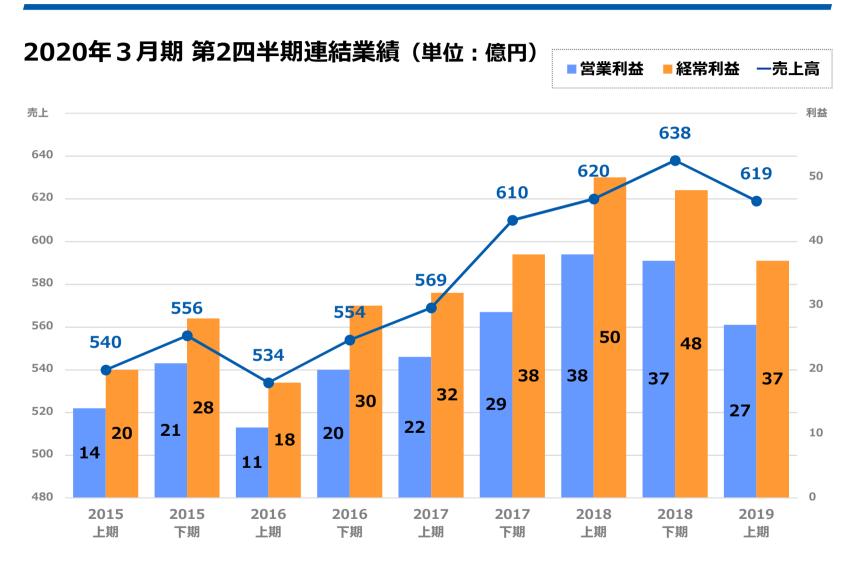
*連結子会社の異動:連結子会社数23社(変更なし)

持分法適用4社 (変更なし)

*中間配当金:50円/株(期末配当50円/株予定)※前期期末50円/株

1. 2020年3月期 第2四半期連結決算の概要

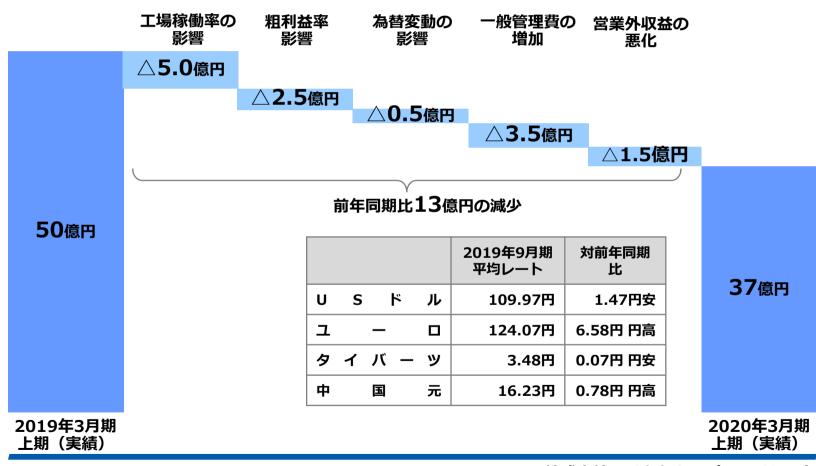




1. 2020年3月期 第2四半期連結決算の概要



経常利益の変動要因



株式会社ノリタケカンパニーリミテド

1.2020年3月期 第2四半期連結決算の概要



特別損益(単位:億円)

特別利益							2019年3月期 上期(実績)	2020年3月期 上期(実績)
固	定	資	産	売	却	益	1.5	0
7			の			他	0.5	0.7
合						計	2.1	0.7

特別損失							2019年3月期 上期(実績)	2020年3月期 上期(実績)
固	定	資	産	処	分	損	0.7	0.4
₹			の			他	0.1	0
合						計	0.8	0.5



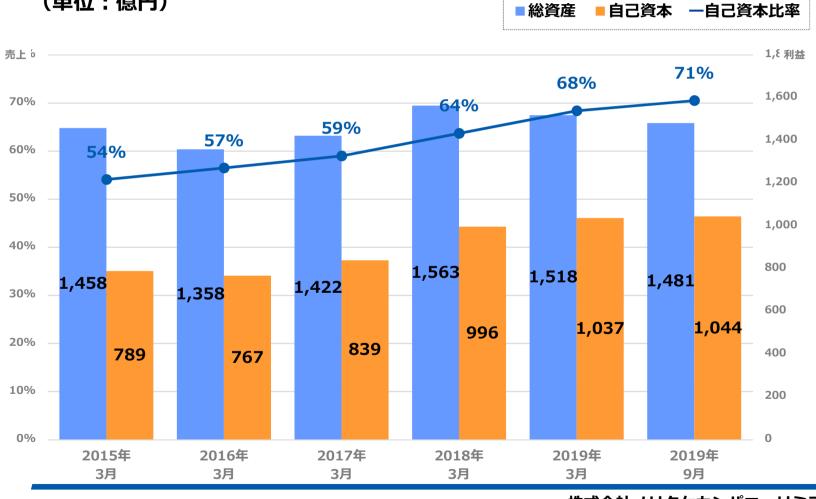
連結貸借対照表(単位:億円)

	2019年3月末	2019年9月末	対前期末比
総資産	1,518	1,481	△37
自己資本	1,037	1,044	+7
1株当り純資産	7,220円	7,245円	+25円
自己資本比率	68.4%	70.5%	+2.1%

1. 2020年3月期 第2四半期連結決算の概要



総資産、自己資本及び自己資本比率の推移 (単位:億円)



株式会社ノリタケカンパニーリミテド



連結貸借対照表(単位:億円)

				2019年3月末	2019年9月末	対前期末比
流	動	資	産	727	689	△37
固	定	資	産	791	791	+0
負			債	444	401	△44
株	主	資	本	940	962	+22
₹0.)他の包括	舌利益累	計額	98	82	△15
非	支配を	朱主持	寺 分	36	36	+0



キャッシュ・フロー(単位:億円)

	2019年3月期 上期(実績)	2020年3月期 上期(実績)	対前年同期比
営業活動によるCF	10	44	+34
投資活動によるCF	△29	△37	△8
フリーキャッシュフロー	△19	7	+27
財務活動によるCF	△39	△12	+28
現金及び同等物残高	101	109	+8



有利子負債、設備投資(単位:億円)

	2019年3月末	2019年9月末	対前期末比
有 利 子 負 債	48	45	△3
現 預 金	141	138	△3
ネット有利子負債	△93	△93	△0

	2019年3月期 上期(実績)	2020年3月期 上期(実績)	対前年同期比
設 備 投 資	25	37	+12
減価償却費	20	22	+2



従業員数(単位:人)

	2019年3月末	2019年9月末	対前期末比
正規国内従業員計	2,997	3,071	+74
正規海外従業員計	2,094	2,113	+19
正規従業員合計	5,091	5,184	+93
平均臨時雇用者数	713	672	△41



事業セグメント別の概要

工業機材

研削砥石 ダイヤ・CBN工具 日本レヂボン製品 (オフセット砥石) 研磨布紙 関連商品

セラミック・マテリアル



エンジニアリング



食 器



家庭用・業務用食器 機内食用食器 食器関連商品 インテリア・美術品 フューネラル用品



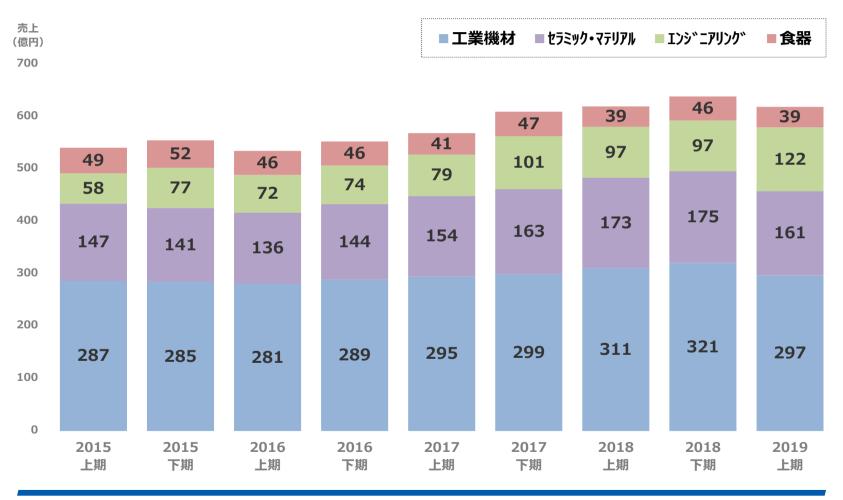
事業セグメント別 売上高 (単位:億円)

					2019年3月期 上期(実績)	2020年3月期 上期(実績)	対前年同期比
	I	業	機	材	311	297	△4.4%
	セラミ	ミック・	マテリ	アル	173	161	△7.3%
	エン	ジニ	アリ	ング	97	122	+26.8%
	食			器	39	39	△0.4%
í	合		計	ŀ	620	619	△0.1%

1. 2020年3月期 第2四半期連結決算の概要



事業セグメント別 売上高 5年間の推移(単位:億円)





事業セグメント別の概況 > 工業機材事業

[売上高と営業利益(単位:億円)]

	2019年3月期 上期(実績)	2020年3月期 上期(実績)	対前年同期比
◆ 売上高	311	297	△14
営業利益	10.4	3.2	△7.2



[売上高と営業利益 5年間の推移 (単位:億円)]



株式会社ノリタケカンパニーリミテド



事業セグメント別の概況 > 工業機材事業

[商品別売上高(単位:億円)]

	2019年3月期 上期(実績)	2020年3月期 上期(実績)	対前年同期比
研 削 砥 石	89	87	△2
日本レヂボン製品	88	81	△8
ダイヤ・CBN工具	69	68	△2
研 磨 布 組	36	33	△3
関 連 商 品	29	29	+0
合計	311	297	△14



事業セグメント別の概況 > セラミック・マテリアル事業

[売上高と営業利益(単位:億円)]

	2019年3月期 上期(実績)	2020年3月期 上期(実績)	対前年同期比
◆ 売上高	173	161	△12
営業利益	20.8	12.7	△8.1



[売上高と営業利益 5年間の推移 (単位:億円)]





事業セグメント別の概況 > セラミック・マテリアル事業

[商品別売上高(単位:億円)]

	2019年3月期 上期(実績)	2020年3月期 上期(実績)	対前年同期比
電子ペースト	37	35	△2
厚 膜 回 路 基 板	10	8	△2
触媒担体・セラミックコア	14	7	△8
石	14	14	+1
蛍 光 表 示 管	19	17	△ 1
共立セラミック原料	34	33	△1
共 立 電 子 部 材	46	47	+1
合 計	173	161	△13

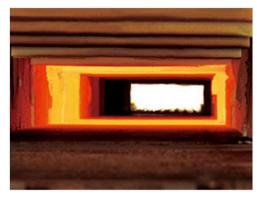
株式会社ノリタケカンパニーリミテド



事業セグメント別の概況 > エンジニアリング事業

[売上高と営業利益(単位:億円)]

	2019年3月期 上期(実績)	2020年3月期 上期(実績)	対前年同期比
◆売上高	97	122	+25
営業利益	11.9	14.8	+2.9



[売上高と営業利益 5年間の推移 (単位:億円)]





事業セグメント別の概況 > エンジニアリング事業

[商品別売上高(単位:億円)]

							2019年3月期 上期(実績)	2020年3月期 上期(実績)	対前年同期比
乾	燥	炉	•	焼	成	炉	75	100	+25
混	合	撹	i	拌	装	置	6	8	+2
瀘		過		装		置	9	8	△ 1
超	硬	丸	鋸	切	断	機	7	6	△1
合						計	97	122	+26



事業セグメント別の概況 > 食器事業

[売上高と営業利益(単位:億円)]

	2019年3月期 上期(実績)	2020年3月期 上期(実績)	対前年同期比
◆売上高	39	39	△0
営業利益	△5.1	△3.8	+1.3



[売上高と営業利益 5年間の推移 (単位:億円)]





事業セグメント別の概況 > 食器事業

[商品別売上高(単位:億円)]

						2019年3月期 上期(実績)	2020年3月期 上期(実績)	対前年同期比
围					内	18	22	+3
*					州	10	8	△1
欧	州	•	ア	ジ	ア	11	9	△2
合					計	39	39	△0



海外事業比率の推移 > 海外販売(金額ベース)

			2019年3月期 通期(実績)	2020年3月期 上期(実績)	2020年3月期 通期(計画)
I	業	機 林	31%	30%	30%
セラミ	ミック・マ	マテリアノ	49%	46%	47%
エン	ジニフ	アリンク	42%	53%	47%
食		5	51%	45%	45%
合		計	39%	39%	38%



海外事業比率の推移 > 海外生産(金額ベース)

				2019年3月期 通期(実績)	2020年3月期 上期(実績)	2020年3月期 通期(計画)
I	業	機	材	14%	15%	14%
セラ	ミック・	マテリア	アル	40%	37%	38%
エン	ジニ	アリン	グ	12%	9%	8%
食			器	49%	48%	47%
£	ì	計		23%	22%	21%

1. 2020年3月期 第2四半期連結決算の概要

2. 2020年3月期 業績予想

3. 2020年3月期 重点施策



2020年3月期 ノリタケグループ業績予想(単位:億円)

				2	019年3	月期	2020年3月期予想			
				上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減
売	ل	Ł	高	620	638	1,258	619	591	1,210	△48
営	業	利	益	38	37	75	27	18	45	△30
経	常	利	益	50	48	98	37	29	66	△32
特	別	損	益	1	24	26	0	△4	△4	△30
税	前	利	益	51	72	123	37	25	62	△61
帰	会社属期級	す	る	41	56	97	28	17	45	△52
U :	S \$	為	替		110.36	円	105	5 円		

株式会社ノリタケカンパニーリミテド



§ 事業セグメント別 予想 (単位:億円)

		2019年3月期	2020 £	F3月期	1 24 _4
		通期(実績)	上期(実績)	通期(予想)	増減
	工業機材	632	297	605	△27
	セラミック・マテリアル	348	161	320	△28
売上高	エンシ゛ニアリンク゛	193	122	210	17
	食 器	85	39	75	△10
	計	1,258	619	1,210	△48
	工業機材	23	3	9	△14
	セラミック・マテリアル	37	13	22	△15
営業 利益	エンシ゛ニアリンク゛	22	15	23	1
4 J.m.	食 器	△8	△4	△9	△1
	計	75	27	45	△30

株式会社ノリタケカンパニーリミテド

本日の内容



- 1. 2020年3月期 第2四半期連結決算の概要
- 2. 2020年3月期 業績予想
- 3. 2020年3月期 重点施策

3. 2020年3月期 重点施策



第11次中期経営計画の概要

§期間

2019年4月 - 2022年3月

- § 経営課題
- ① 成長性と収益性の向上
- ② 投資 (M&A、設備、開発) の加速
- ❸ ESG(環境・社会・企業統治)への取り組み

§ 経営目標

① 売上伸長率 年 5%

② 営業利益率 7%

③ ROE 8%以上

4 海外販売比率 50% (長期的目標)

3. 2020年3月期 重点施策



§ 基本戦略

- ① 競争力のある新商品・新技術開発の促進
- ② 海外生産拠点の増強と海外市場開拓の推進
- ③ 国内販売体制、製造体制の再整備
- 4 ものづくり強化活動、環境活動、安全衛生活動、働き方改革と事業活動の一体化

§ 連結業績目標

				2019年3月期(実績)	2022年3月期(目標)	増減率
売	上 高		高	1,258	1,360	+8.1%
営	業	利	益	75	90	+20%
経	常	利	益	98	110	+12.2%

§ 事業セグメント別の施策 > 工業機材事業

海外生産拠点(中国、タイ、北米)の増強、販売拠点の新設 (中国、北米)、他社との協業(中国、メキシコ)による 海外市場の開拓を進め、グローバルな事業体制を構築



新均質構造砥石など競争力のある商品の強化により、自動車・ 鉄鋼・ベアリングといった重点分野でのシェアを拡大

自動車の自動運転・電動化やIoTなどに対応した新商品の開発により、電子・半導体などの新分野、拡大分野での市場を獲得

グループ会社を含めた国内販売拠点の再整備を行い、効率的な販売・物流体制を 構築 § 事業セグメント別の施策 > セラミック・マテリアル事業

電 子 ペースト : 高速通信など最先端の電子部品に対応した

商品開発による、国内外の重要顧客での

シェア拡大と新規需要の開拓

石 膏:国内外の生産拠点の増強と東南アジア市場

の開拓



セラミックコア:生産拠点の新設と海外顧客への営業強化

触 媒 担 体:性能改良と次世代品・高性能品の開発

蛍 光 表示管:タッチスイッチにて食品製造装置などの新市場の開拓

電 子 部 材:積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力増強による

シェア拡大と新商品の開発

§ 事業セグメント別の施策 > エンジニアリング事業

乾燥炉・焼成炉:次世代電池などのエネルギー分野や電動化が

進む自動車分野での拡販と、新素材向けの

新商品開発

混 合 攪拌装置 : 酒造や製菓などの食品分野、化粧品分野での

新用途開拓

濾 過 装 置:自動車分野での販売強化とセラミックスなどの非鉄金属分野での

新用途開拓

超硬丸鋸切断機:生産ラインの省人化、自動車の軽量化・IoTに対応した商品開発

株式会社ノリタケカンパニーリミテド



§ 事業セグメント別の重点施策 > 食器事業

国内:百貨店、直営店などの流通販路の再整備

ネット販売の強化

ホテル・レストラン向けの業務用食器の販売強化

海外:新商品の投入などによる米国市場の収支改善と成長が

期待されるインドを中心としたアジア市場の販売拡大



